

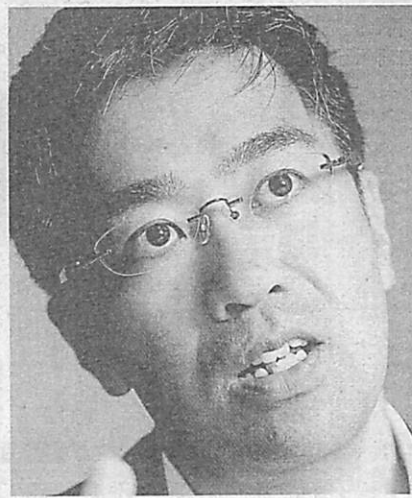
# そこが聞きたい

## 【新たな国連長期目標】

インタビュー

### 蟹江 憲史氏

慶応大教授



かにえのりちか  
1969年生まれ。東京工業大准教授などを経て、今年4月から現職。国連大学サステイナビリティー高等研究所シニアリサーチフェローも務める。リオプラス20には日本政府代表団顧問として参加した。

# 先進国の行動がカギ

途上国の貧困解消などを掲げた「国連ミレニアム開発目標(MDGs)」――11が年末に達成期限を迎え、その後継目標が今月、国連総会で採択される。今年に国連創設70年、「国際関係論」の専門家として目標案の議論に参加した蟹江憲史・慶応大教授(46)に聞いた。【聞き手・大場あい、写真・森田剛史】

新たな目標は「持続可能な開発」のための2030アジェンダ(計画)と呼ばれます。MDGsとは何が変わるのでしょうか。

来年から2030年までに達成を目指す世界共通の目標です。飢餓撲滅や地球温暖化、災害による被害対策など、17分野169項目の目標で構成されます。12年の「国連持続可

能な開発会議」(リオプラス20)で策定することが決まりました。貧困対策がメインである点は同じですが、MDGsは、途上国が

発展するための目標という色彩が強かったように思います。今回は、先進国、途上国問わず、世界全体で環境保全など将来の世代のことを考えながら、今生きている世代の利益も実現させる「持続可能な開発」を自

府組織)や経済団体、学識経験者らも議論に加わり、約2年かけてまとめました。私も最初から参加しました。日本は議論の中で、東日本大震災の教訓を踏まえ、強じんな社会作りのための目標を随所に盛り込むことを訴え、取り入れられました。全ての人が基本的な医療を負担可能な費用で受けられるようにすることも主張し、目標に入りました。ただ残念なことに、日本政府は当初、単に途上国支援の延長という認識だったため、当事国意識に欠け議論全体で存在感を示せたとはいえません。

けん引したのはコロンビアなど南米の国々です。彼らは「持続可能な開発目標を作ろう」と提案し、「目標達成の状況を把握する指標は、加盟国が選択可能なものにすべきだ」などと提案し、取りまとめに貢献しました。「途上国」とひとくくりにされた国々から中国やインドなど急速に経済成長を遂げる国が登場し、危機感があつたのだと思います。自然環境を守ったり先進国に支援を求めたりするために、これからもさら

に成長が必要な途上国グループとして、存在感を示す必要があつたのだと思います。30年までに目標が達成できない場合、どうなるのですか。

各国に達成義務はなく、目標を達成できなくても罰則はありません。しかし、新たな目標では、世界全体の取組状況を国連総会などの下の関係級会合で検証する仕組みを盛り込み、政治レベルでの取組を促します。各国の進捗状況も公表され、国ごとにランク付けされるよ

うになるでしょう。国内総生産(GDP)や温室効果ガス排出量などのように、各国を比較する新たな「ものさし」ができるのです。既に、一部の機関投資家などが新たな目標に関心を持ち始めています。目標は、国や企業が持続可能で、経済的にも環境的にもリスクの低い取組を実施しているかどうかのチェックリストにもなるので、投資家はランクの低い国や、目標に沿わない事業への投資を避けるようになるかもしれません。そうなれば、多くの国は目標達成につながる政策を進めざるを得なくなるでしょう。

### 1 ミレニアム開発目標(MDGs)

2000年の国連ミレニアムサミットで採択された「国連ミレニアム宣言」を基に、01年にまとめられた世界の目標。1日1.25ドル未満で生活する貧困層の人口を1990年比半減▽飢餓人口を同半減▽初等教育の完全普及▽5歳未満児死亡率を同3分の1に――など8分野21項目の目標、60の指標を掲げた。

### 2 持続可能な開発会議(リオプラス20)

リオデジャネイロで1992年に開かれた地球サミットから20年後の2012年に開催された。191の国・地域の首脳が参加。環境保護や貧困対策について議論をしたが、取りまとめられた成果文書に具体的な施策や目標は盛り込まれなかった。

MDGsは、途上国が抱える解決課題に先進国が取り組む構図でした。今後先進国には途上国支援が求められるのでしょうか。

途上国支援だけではなく、むしろ先進国自身が実現に向けて努力しなければならぬことがたくさんあります。例えば、世界全体で再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる▽水害など災害の死者数を大幅に削減する――などです。

「持続可能な開発が実現できているか」という観点で見れば、世界に先進国はありません。日本も途上国

経済成長のためにも「持続可能性」が重要な点では分かってきたが、これまで何をしたらいいのかは「ピン」となりました。新目標は、どんな行動が必要なのか、具体例を挙げています。途上国のための目標と見られがちですが、蟹江さんは「日本では「開発」を「成長」と読み替えてはどうか」と提案する。新目標のメインタイトルは「私たちの世界を転換する」。目標が完全達成されれば、「環境配慮の活動が経済的にももつかる」世界に変わっているだろう。

「持続可能な開発が実現できているか」という観点で見れば、世界に先進国はありません。日本も途上国